

安芸高田市 障害者基幹相談支援センター

安芸高田市障害者基幹相談支援センター（以下「センター」という）は、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害の種別や手帳の所持の有無に関わらず、地域で生活を送る際に生じる様々な困りごとに対する相談支援を行うことを目的に設置しました。

今回の特集では、センターがどのような仕事を行っているのかについてご紹介します。

お気軽に
ご相談ください

センターの運営は、社会福祉法人清風会が市から受託し行っています。現在管理者を含めて職員5名と市障害者相談員1名が勤務しています。

センターは、不安や悩みを抱えた障害のある方やそのご家族などの最初の相談窓口です。障害や病気に関わること、就職や進学、福祉サービスなどの利用、人間関係で不安に思うことについてなど何でもお気軽にご相談ください。センターで解決できないことは、専門機関を紹介することもできます。情報収集の場所としてもご利用ください。

さらに、このセンターは、安芸高田市障害者虐待防止センターも兼ねており、虐待通報は、24時間電話受付をしています。社会福祉事業所や市の職員で構成される安芸高田市障害者自立支援協議会の事務局もセンターが担当しています。



主任相談支援専門員
橋本 万寿美さん

安芸高田市障害者自立支援協議会は、障害のある方が生活しやすい地域づくりを推進するために、障害者団体や社会福祉事業所、医療機関や行政機関などで構成されています。個別では解決できない課題や事例についての話し合い、また情報共有するための組織で、定期的に会議を開催しています。

また、長年入院されている方の退院を支援する地域移行定着支援事業や、パソコン教室、ピアサロンなどの参加型の行事も定期的に開催しています。

センターには、現在月平均で100件余りの相談が寄せられています。その内容は、児童・生徒の発達障害やいじめ・不登校についての相談、障害のある外国籍の方からの



ピアサロンで、庄原市へ旅行に行ったときの集合写真



センター職員、市障害者相談員

障害がある多くの方に利用してほしい

センター管理者から

市民の皆さん、周囲で虐待が起きていると感じたら、勇気をもってセンターに通報してください。

安芸高田市内には、複雑に絡み合った問題を抱えている人が多くおられます。それを解決することは簡単なことではありませんが、困っている人の問題を解決できたときの笑顔を見るとき、私は社会福祉の仕事をしてよかったなどやがいを感ずります。

市内に住む障害のある方にセンターのことが十分に知られていないのが実態です。センターの存在を一人でも多くの人たちに知っていただきたいです。

方々のお話を聞いてきました。十分な活動が出来たかどうかはわかりませんが、これからはセンターと共に活動していきたいと思います。



森上 邦枝さん

アドバイスをいただいています

センターに来たときは、私自身の相談はもちろん、私の周囲にいる、困りごとや悩みを抱えている人のことを相談し、そのことについてアドバイスをいただいています。私は体が不自由で外出が難しい面もありますが、身体障害者相談員として、長い間多くの

センター利用者の声



新川 誠治さん

行事の情報を教えてください

月に1度くらいのペースでセンターに来ています。ここに来たときは、あの建物は車椅子では通りにくい、とか、あそこのトイレは古いので車椅子が入れない、といったバリアフリーに関する相談をしたり、ゲートボールやフライングディスク大会など行事の情報を教えてもらっています。出かけると人の輪が広がるので、積極的に行事に参加しています。



管理者 古玉 哲弘さん

また、センターのもう一つの役割として、虐待防止センターを開設しています。市とともに、虐待の通報・届出を受理し、虐待に対する相談・指導・助言を行っています。



安芸高田市障害者基幹相談支援センター

〒750-0842 吉田町常友 1564-2
安芸高田市中央保健センター3階
☎47-1080【祝日、年末年始を除く】
障害者虐待防止センター
☎47-1083【24時間対応】
☎47-1061

開設時間：月曜日～金曜日の
8:30～17:15
✉kikansodan@ajisai.ne.jp
備考：国道54号側からも
車で入れます